

令和4年度予算主要事業の概要
(事業別説明資料)

環境水道部



目 次

第三次環境基本計画の策定	3
継承者がいない遺骨を納める合葬墓の整備	4
ごみ出し支援アプリの導入	5
IoT センサーカメラによる不法投棄監視体制の強化	6
官民連携によるごみ回収体制の整備	7
ごみ・汚泥処理に係る将来方針の検討	8
公共下水道船津処理区の管渠施設整備	9
マンホールトイレシステムの整備	10

注：タイトル末尾に*印がある事業は所属ごとの概要資料のみに掲載しています（*印がない事業は全体版から再掲となります）

新規 第三次環境基本計画の策定

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
171	一般財源	報酬 153
(前年度予算 0)		旅費 18

2 事業背景・目的

市では、飛騨市環境基本条例に基づき、豊かで快適な環境の保全及び創出に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的に「環境基本計画」を策定しており、現行の第二次基本計画（平成30年度～令和4年度）では、循環型社会の構築、生活環境を守る、豊かな自然を守る、地球温暖化の防止、環境学習の実践の5つの基本目標を掲げ、市民・事業者・行政の協働によりその実現に努めてきました。

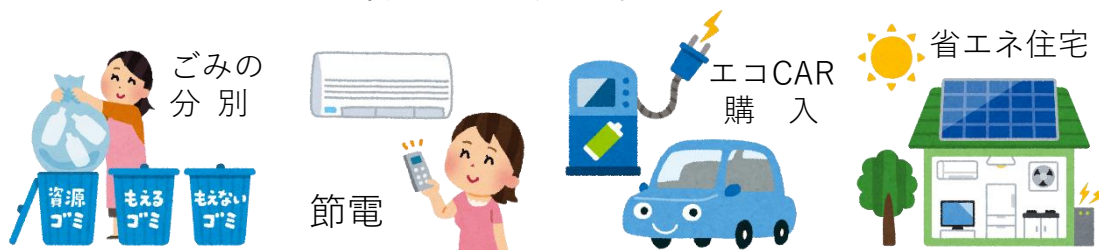
計画期間の終了に伴う第三次基本計画の策定にあたっては、引き続き豊かな自然と調和した安全で快適なまちづくりの推進をベースとして、市を取り巻く環境の変化や国内外の情勢等を踏まえた見直しを行うとともに、世界的規模の問題である地球温暖化・気候変動対策の一環として、市民や事業者が地球環境に対する関心を高め、温室効果ガスの排出削減等を自発的に促していく視点を取り入れ、地道ながらも実効性のある環境政策の推進へとつなげます。

3 事業概要

ごみの分別などのリサイクルの推進や家庭でのこまめな節電など、市民レベルの取組を積み重ねることで地球温暖化防止に貢献し、資源を活かしながら持続可能な環境を目指すことに主眼を置いた第三次環境基本計画（令和5年度～9年度）を策定します。

なお、計画策定にあたっては、市民・団体等の代表者などで構成する環境審議会で審議・助言をいただくとともに、パブリックコメントにより市民の声をしっかりと取り入れていくものとします。

— 市民一人ひとりが出来ること —



担当課：環境水道部環境課（☎0577-73-7482） 予算書：P. 87

新規 継承者がいない遺骨を納める合葬墓の整備

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
2,864	一般財源	2,864
		工事請負費 2,800
		役務費 64
(前年度予算 0)		

2 事業背景・目的

市では、飛騨市営墓地使用条例に基づき、市営墓地の維持管理、区画の貸出し、使用者情報の管理等の事務を行っています。

少子高齢化や核家族化など社会構造の変化により、親族による継承ができなくなるお墓が今後増えてくることが懸念され、継承者がおらず適切な墓じまいがなされないまま墓地管理料が滞納される事案も生じています。

また、養護老人ホーム和光園の納骨所には、身寄りのない入所者等の遺骨が納められていますが、年々保管できるスペースが少なくなっていることも踏まえ、これらの無縁仏を納める合葬式墓を市営墓地内に新たに整備します。

3 事業概要

① 市営墓地における合葬式墓の整備 (2,800千円)

納骨が困難な状況にある方々のお骨（無縁仏）を移す合葬式墓を整備します。

対象者：市営墓地の継承ができない方、身寄りのない方、お墓の確保が困難な低所得者

建設場所：市営墓地上気多7号霊苑内

納骨方法：焼骨を骨壺から取り出して焼骨投入口から納骨します。先に納骨された焼骨と混ざりますので、納骨後の遺骨の引取はできません。



イメージ図

② 墓じまいに関する市民ニーズの把握 (64千円)

墓地の管理や墓じまいに関する市民ニーズを把握するため、市営墓地利用者を対象としたアンケート調査を実施します。

新規 ごみ出し支援アプリの導入

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
346	一般財源	346 使用料
		委託料 55
(前年度予算 0)		

2 事業背景・目的

市では、ごみの収集の日程や分別方法の周知にあたり「保健衛生カレンダー」を全戸配布し、市の公式ウェブサイトにも関連情報を掲載していますが、市民からは「カレンダーが細かくて見にくい」、「ごみの出し方や分別方法が分かりにくい」、「ごみの収集日をうっかり忘れていた」などの声も聞かれます。

このため、お手持ちのスマートフォンやPCからごみの収集日程や分別案内、その他ごみに関する情報を受け取ることができるごみ出し支援アプリを導入することで、よりきめ細やかな情報提供により市民生活の利便性の向上を図ります。

3 事業概要

お住いの地区に合わせて詳しいカレンダー表示やごみ出し日の通知等が受けられるごみ出し支援アプリを導入し、市民に無償提供します。

(アプリの主な機能)

- ・ごみ出し日通知設定
お住いの地区のごみ出し日を通知
- ・カレンダー機能
お住いの地区にあわせたカレンダー表示
- ・ごみ分別帳機能
ごみの出し方・分け方表示
- ・インフォメーション機能
自治体からの情報をリアルタイムに発信
- ・スマートスピーカー※への対応
分別帳、ごみ出し日通知

※インターネットに接続し対話による音声操作が可能なスピーカー



画像はイメージです

担当課：環境水道部環境課（☎0577-73-7482） 予算書：P. 89

【拡充】 IoTセンサーカメラによる不法投棄監視体制の強化

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
1,050	諸収入	250	委託料	1,000
	一般財源	800	借上料	50
(前年度予算 1,286)				

2 事業背景・目的

市では、豊かな自然と快適な生活環境を守るため、巡回パトロールの実施や不法投棄マップの全戸配布により市民全体で監視の目を強化するなど、不法投棄の早期発見と未然防止に取り組んでいます。

これまでにも特に不法投棄が続けて行われる場所に監視カメラを設置して対策を講じてきましたが、悪質な不法投棄は後を絶たないことから、より高性能な機器を試験的に導入し、警察との更なる連携強化により環境を脅かす違法行為に徹底的に対抗します。

3 事業概要

①【新規】IoTセンサーカメラの試行導入 (50千円)

不法投棄が頻発する現場にIoTセンサーカメラを試験的に設置し、周辺の動きを自動で検知して撮影記録を行うとともに、職員のパソコン等にリアルタイム映像を送信することで、違法な行為を確実に記録し、警察への通報体制を強化します。

②【継続】巡回パトロール等の実施 (1,000千円)

定期的な巡回パトロールにより不法投棄現場を早期に発見し、環境への影響を最小限に食い止めるとともに、不法投棄の現状を市民にしっかりと周知啓発していくことで、不法投棄の防止を図ります。



▲監視カメラが捉えた不法投棄の瞬間



▲山中に不法投棄されたごみ

担当課：環境部水道部環境課 (☎0577-73-7482) 予算書：P. 89

新規 官民連携によるごみ回収体制の整備

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
1,587	ふるさと納税	委託料
(前年度予算 0)		

2 事業背景・目的

市では、飛騨市リサイクルセンター（古川町谷）において粗大ごみや資源ごみを一括して分別処理しており、第1・第3日曜日の休日開所も行っていますが、遠方にお住まいの市民からは利用しにくいとの声も寄せられています。

こうした中、神岡町では民間事業者による独自の取組として「エコサポートかみおか」を開業、毎平日に粗大ごみや資源化物等の受入れ・運搬を行うとともに、粗大ごみ1つかからでも戸別回収に何う「ふれあい収集」サービスを提供することで、地域間の負担解消に大きく貢献されています。

これを踏まえ、エコサポートかみおかの休日開所を試行的に実施するとともに、全市的に民間事業者と連携した高齢者世帯の粗大ごみ回収の支援を行い、ごみリサイクルの推進と市民生活の利便性向上を図ります。

3 事業概要

① エコサポートかみおかの休日開所 (1,462千円)

神岡町の民設民営のリサイクル積替え保管施設「エコサポートかみおか」をより利用しやすくするため、市の委託により年6回の日曜日開所を試行的に実施します。

場所：神岡町東雲375番地（㈱神岡衛生社敷地内）

平日：月～金曜日の8時～16時（年末年始・大型連休・祝日を除く）

日曜：年6回（飛騨市リサイクルセンター開所日のいずれかを予定）



② 高齢者世帯に対する粗大ごみ回収支援 (125千円)

70歳以上の高齢者世帯（独居含む）が、市の許可事業者（㈱吉城環境管理センター、㈱神岡衛生社）が提供する粗大ごみ等の有料回収サービスを利用する場合、利用料金から1回当たり500円を割引きます（1世帯当たり年3回まで）。



担当課：環境水道部環境課（☎0577-73-7482） 予算書：P. 89

新規 ごみ・汚泥処理に係る将来方針の検討

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
14,443	負担金 1,254 一般財源 13,189	委託料 14,443
(前年度予算 0)		

2 事業背景・目的

市内唯一のごみ焼却施設である飛騨市クリーンセンターは稼働から9年、下水道汚泥焼却施設であるみずほクリーンセンターは稼働から19年が経過し、一般的に20～30年とされる標準耐用年数の折り返し地点を迎えており、人口減少の進行や社会環境の変化による処理量の減少も続いていることから、最新のデータや技術に基づいて課題等を中間的に整理し、将来を見据えてより効率的かつ安定的な施設運営に向けた検討を進めます。

3 事業概要

将来的な施設の適正処理規模を算定するため、最新データに基づく処理量の推計や有効な処理方式について必要な調査・検討を行うとともに、さまざまな処理パターンにおける費用や課題等を整理し、今後の処理方針の方向性を見極めるための基礎資料として活用します。



▲飛騨市クリーンセンター（古川町）



▲みずほクリーンセンター（宮川町）

担当課：環境水道部環境課（☎0577-73-7482） 予算書：P. 90（一般会計）

P. 6（下水道汚泥特会）

継続 公共下水道船津処理区の管渠施設整備

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
159,900	国庫補助金	59,000	工事請負費	150,000
	下水道事業債	81,600	補償費	5,000
(前年度予算 110,186)	下水道基金・分担金	19,300	委託料	4,900

2 事業背景・目的

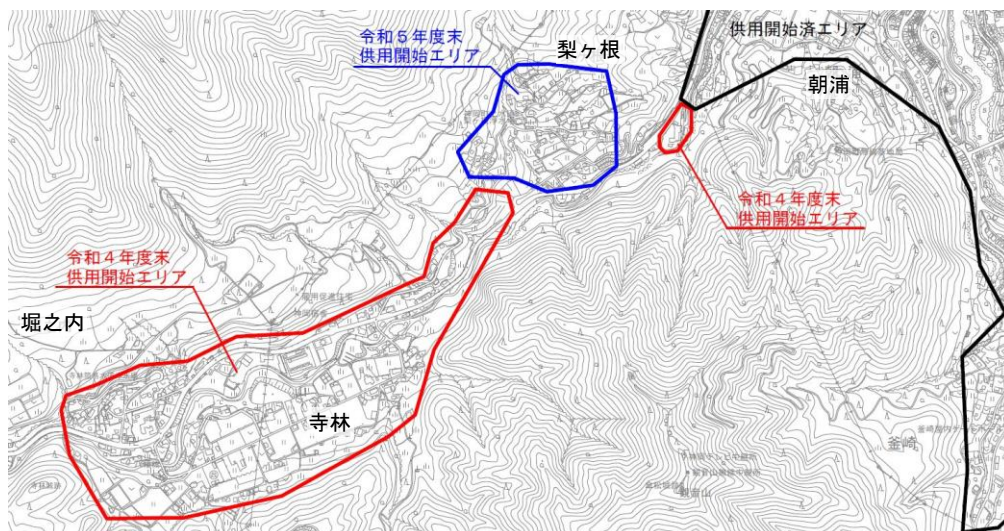
飛騨市神岡町の公共下水道区域である船津処理区は、平成10年度に事業開始、平成17年度から一部供用を開始しており、全体の整備率は91%となっています。

未供用エリアである梨ヶ根・寺林地区では、国土交通省が行う国道41号の登坂車線整備工事との一体的な施工を進めており、令和4年度末には梨ヶ根の一部地区と寺林地区において新たに下水道接続が可能となります。

3 事業概要

梨ヶ根・寺林地区において、引き続き管渠整備及び舗装復旧工事を実施します。

- ・ 下水道管渠整備工事 (梨ヶ根・寺林) L= 980m
- ・ 舗装復旧工事 (寺林) A=3,190m²
- ・ 水道管移転補償費 (寺林) 1式



担当課：環境水道部水道課 (☎0577-73-7484) 予算書：P.12 (公共下水道特会)

新規 マンホールトイレシステムの整備

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
61,340	国庫補助金	28,000	工事請負費	60,000
	下水債・防災基金	29,340	備品購入費	1,202
(前年度予算 0)	一般財源	4,000	消耗品費	138

2 事業背景・目的

近年では、毎年のように全国各地で大規模な自然災害が頻発し、甚大な被害を受けた被災地においては、避難所で発生したトラブルの上位にトイレの問題が挙げられており、特に収容人数の多い避難所では、トイレの混雑や衛生面での多大なストレスが生じることが容易に想像されます。

このため、学校や体育館等の大規模避難所において、下水道のマンホールの上に簡易な便座やパネルを設け、被災時に下水道管路を直接トイレとして利用することで迅速にトイレ機能を確保できるマンホールトイレシステムを整備します。

3 事業概要

① マンホールトイレシステムの整備 (60,000千円)

大規模避難所の敷地内に流下機能を備えたマンホールトイレシステムを順次整備します。(令和4年度：古川地区5箇所、令和5年度：神岡地区5箇所)

今回整備箇所：古川小、古川西小、古川中、飛騨市文化交流センター、古川消防署

② 組み立て式トイレ等の試験導入 (1,340千円)

マンホールトイレシステムを先行整備する避難所において、組み立て式トイレ等の資機材一式を試験的に導入し、防災・福祉関係者らとともに使用方法の確認や問題点等を検証し、今後の本格的な資機材導入と避難所運営に反映します。



▲マンホールトイレのイメージ図 (出典：国土交通省ホームページ)

担当課：環境水道部水道課 (☎0577-73-7484) 予算書：P.12 (公共下水道特会)

総務部危機管理課 (☎0577-62-8902) 予算書：P.58 (一般会計)